

# おひな祭り

陶山公民館 2010・2・26



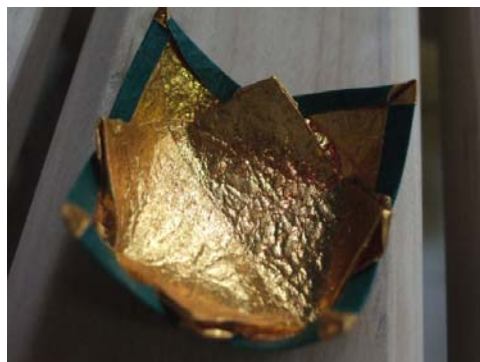
地域の人たちから寄せられました。目を引いたのが 8 段の段飾り。下のハマグリの絵合わせと屏風は、お茶をされていた山本さんが、京都で 30 年ほど前に購入されたものだそうです。



右端は皇太子の結婚のとき作られたという稚子びなだそうです。15-16年前でしょうか。髪型がとても優雅です。



そのほか小学生や幼稚園の作品、手作りの作品、九谷焼の夫婦雛など 140 点が勢ぞろい。見ごたえがあります。会場ではお茶のもてなしも行き届いていました。26 日の今日はほうじ茶です。古いものを集めましたので、かび臭かったといいますが、このほうじ茶のおかげで匂いが消えたといえます。私は初めてほうじ茶を炒りたてていただきました。明日は手作りの甘酒、28 日はお抹茶でお接待だそうです。楽しみです。



みんなで手作りしたあられが美しくも美味でした。主事の手作りの器に収められ、頂くのももったいない気がしました。幼稚園児や小学生児童もやってきて嬉々として楽しんでいました。ほうじ茶の湯飲み茶碗をのせたコースターも手作りででした。さらにうれしいことに、もう忘れかけていた市民手作りの「ボッケー遊び札」の「き」たぎしまの流し雛が飾られていたことです。いつまでも市民手作りのかるたで笠岡を散歩する気概がここに息づいていました。

